

若年子宮体がん妊孕性温存治療についての調査研究に対する

ご協力をお願い

1. 研究の対象

秋田大学医学部附属病院で西暦 2009 年 1 月 1 日より 2013 年 12 月 31 日までの間に、子宮体がんに対し妊孕性温存を目的とした初回治療を受けた方

2. 研究目的・方法

子宮体がんの標準治療は手術による子宮摘出ですが、妊娠を強く望む若い女性で子宮内膜に現局していると思われる高分化型類内膜癌、および子宮内膜異型増殖症（類内膜上皮内腫瘍）においては、子宮を切除せず黄体ホルモンによる子宮温存治療も行われる場合があります。しかしながら、本邦における若年子宮体がんの子宮（妊孕性）温存療法の実態についての詳細は不明です。

本研究では、久留米大学産婦人科を研究事務局として、日本産科婦人科学会の婦人科腫瘍登録を行っている施設を対象に診療内容を調査し、治療の効果やその後の管理の方法、温存治療の本来の目的である、その後の妊娠についてなど多くの情報を集めます。

全国規模のかつてない多数例の情報の集積により、治療適応の拡大の可能性を探ると同時に、安易な温存治療がなされていないかどうかを検証し、治療の質の担保と安全な普及についての提言を行うことを本研究の目的としています。研究の成果は学会発表や論文として公開されますし、参加施設および日本産科婦人科学会のホームページでも見ることができます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

参加施設で若年子宮体がん妊孕性温存治療を受けられた患者さんの臨床データを集めます。特に新たに患者さんにご提供いただくものではありません。

調査項目

- ・初回治療（手術）前情報（30 項目）
- ・診断および治療の方法（26 項目）
- ・その後の妊娠について（21 項目）
- ・再発の有無、再発時の対応（26 項目）

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

久留米大学 ・ 牛嶋 公生
久留米大学 ・ 津田 尚武
東海大学 ・ 三上 幹男
新潟大学 ・ 榎本 隆之
千葉大学 ・ 生水 真紀夫
千葉大学 ・ 三橋 暁
慶応義塾大学 ・ 山上 亘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市本道1-1-1 電話番号：018-884-6163

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 機能展開医学系 産婦人科学講座

研究責任者：金子 恵菜実

研究代表者：久留米大学産婦人科 牛嶋 公生

以上